

新旧対照表（地質・土質調査業務共通仕様書）

旧（令和6年10月）	新（令和7年10月）	摘要
<p>地質・土質調査業務共通仕様書</p> <p>平成23年 5月一部改正 平成24年 2月一部改正 平成29年 4月一部改正 令和 2年10月一部改定 令和 3年10月一部改定 令和 4年10月一部改定 令和 5年10月一部改定 令和 6年10月一部改定</p>	<p>地質・土質調査業務共通仕様書</p> <p>平成23年 5月一部改正 平成24年 2月一部改正 平成29年 4月一部改正 令和 2年10月一部改定 令和 3年10月一部改定 令和 4年10月一部改定 令和 5年10月一部改定 令和 6年10月一部改定 令和 7年10月一部改定</p>	

新旧対照表（地質・土質調査業務共通仕様書）

旧（令和6年10月）	新（令和7年10月）	摘要
<p>第1章 総則</p> <p>第 112 条 打合せ等</p> <p>5. 監督職員及び受注者は、「ワンデーレスpons」<u>※に努める。</u></p> <p>※ワンデーレスponsとは、問合せ等に対して、1日あるいは適切な期限までに対応することをいう。なお、1日での対応が困難な場合などは、いつまでに対応するかを連絡するなど、速やかに何らかの対応をすることをいう。</p>	<p>第1章 総則</p> <p>第 112 条 打合せ等</p> <p>5. 監督職員及び受注者は、「ワンデーレスpons」<u>※1「<u>「</u> ウィークリースタンス」<u>※2</u>に努める。</u></p> <p>※1ワンデーレスponsとは、問合せ等に対して、1日あるいは適切な期限までに対応することをいう。なお、1日での対応が困難な場合などは、いつまでに対応するかを連絡するなど、速やかに何らかの対応をすることをいう。</p> <p><u>※2 ウィークリースタンスとは、労働環境を改善し、円滑な実施と品質向上に努めることを目的に、受発注者間で確認・共有した取組の総称をいう。</u></p>	追加
<p>第133条 安全等の確保</p> <p>1. 受注者は、屋外で行う地質・土質調査業務に際しては、地質・土質調査業務関係者だけでなく、付近住民、通行者、通行車両等の第三者の安全確保のため、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。</p> <p>(1) 受注者は「土木工事安全施工技術指針」（国土交通省大臣官房<u>技術調査課</u>令和<u>2</u>年3月）を参考にして常に調査の安全に留意し現場管理を行い災害の防止を図らなければならない。</p>	<p>第133条 安全等の確保</p> <p>1. 受注者は、屋外で行う地質・土質調査業務の実施に際しては、地質・土質調査業務関係者だけでなく、付近住民、通行者、通行車両等の第三者の安全確保のため、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。</p> <p>(2) 受注者は「土木工事安全施工技術指針」（国土交通省大臣官房<u>技術審議官</u>通達令和<u>7</u>年3月）を参考にして常に調査の安全に留意し現場管理を行い災害の防止を図らなければならない。</p>	更新
<p>第6章 解析等調査業務</p> <p>第 602 条 業務内容</p> <p>1. 解析等調査業務の内容は、次の各号に定めるところによる。</p> <p><u>2.</u> 既存資料の収集・現地調査は以下による。</p> <p>(1) 関係文献の収集と検討</p> <p>(2) 調査地周辺の現地調査</p> <p><u>3.</u> 資料整理とりまとめ</p> <p>(1) 各種計測結果の評価及び考察</p>	<p>第6章 解析等調査業務</p> <p>第 602 条 業務内容</p> <p>1. 解析等調査業務の内容は、次の各号に定めるところによる。</p> <p><u>2. 計画準備</u></p> <p><u>業務の目的・主旨を把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、調査計画の立案及び業務計画書の作成を行うものとする。</u></p> <p><u>3.</u> 既存資料の収集・現地調査は以下による。</p> <p>(1) 関係文献の収集と検討</p>	追加 番号修正

新旧対照表（地質・土質調査業務共通仕様書）

旧（令和6年10月）	新（令和7年10月）	摘要
<p>(2) 異常データのチェック</p> <p>(3) 試料の観察</p> <p>(4) ボーリング柱状図の作成</p> <p><u>4.</u> 断面図等の作成</p> <p>(1) 地層及び土性の工学的判定</p> <p>(2) 土質又は地質断面図等の作成。なお、断面図は着色するものとする。</p> <p><u>5.</u> 総合解析とりまとめ</p> <p>(1) 調査地周辺の地形・地質の検討</p> <p>(2) 地質調査結果に基づく土質定数の設定</p> <p>(3) 地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定</p> <p>(4) 地盤の透水性の検討（現場透水試験や粒度試験などが実施されている場合）</p> <p>(5) 調査結果に基づく基礎形式の検討（具体的な計算を行うものでなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討）</p> <p>(6) 設計・施工上の留意点の検討（特に、切土や盛土を行う場合の留意点の検討）</p>	<p>(2) 調査地周辺の現地調査</p> <p><u>4.</u> 資料整理とりまとめ</p> <p>(1) 各種計測結果の評価及び考察</p> <p>(2) 異常データのチェック</p> <p>(3) 試料の観察</p> <p>(4) ボーリング柱状図の作成</p> <p><u>5.</u> 断面図等の作成</p> <p>(1) 地層及び土性の工学的判定</p> <p>(2) 土質又は地質断面図等の作成。なお、断面図は着色するものとする。</p> <p><u>6.</u> 総合解析とりまとめ</p> <p>(1) 調査地周辺の地形・地質の検討</p> <p>(2) 地質調査結果に基づく土質定数の設定</p> <p>(3) 地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定</p> <p>(4) 地盤の透水性の検討（現場透水試験や粒度試験などが実施されている場合）</p> <p>(5) 調査結果に基づく基礎形式の検討（具体的な計算を行うものでなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討）</p> <p>(6) 設計・施工上の留意点の検討（特に、切土や盛土を行う場合の留意点の検討）</p>	